

平成22年度 第2回公民館運営審議会

- | | | |
|---|-----------|---|
| 1 | 審議会名 | 公民館運営審議会 |
| 2 | 日 時 | 平成22年11月16日 午後2時から午後4時45分まで |
| 3 | 会 場 | 明科公民館講堂 |
| 4 | 出席者 | 神谷会長、降旗副会長、内田委員、山田委員、大倉委員、青柳委員、小林委員、宮川委員、曾根原委員、手塚委員 |
| 5 | 市側出席者 | 丸山教育長、飯沼教育次長、赤羽社会教育課長、内田中央公民館長、内川豊科公民館長、中村穂高公民館長、千國三郷公民館長、浅見明科公民館長、青柳中央公民館主事、山田豊科公民館主事、平川穂高公民館主事、高嶋三郷公民館主事、猿田堀金公民館主事、下里明科公民館主事、関中央公民館主事 |
| 6 | 公開・非公開の別 | 公開 |
| 7 | 傍聴人 | 0人 記者 0人 |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 平成22年12月8日 |

協 議 事 項 等

- | | |
|---|---|
| 1 | 開 会 |
| 2 | あいさつ
会長
教育長 |
| 3 | 明科公民館長紹介
教育長より紹介
明科公民館長あいさつ |
| 4 | 協議事項
1) 平成22年度公民館事業報告（4月～9月分）について
2) 意見集約について
3) その他 |
| 6 | 閉 会 |

【平成22年度公民館事業報告（4月～9月分）について】
《各公民館長より説明》

【意見集約についてについて】
《事務局より説明》

(委員)

委員になって初めて5地域を見させていただいた。文化祭について堀金地域の場合、個人でも仲間でもって自分たちが1年間やってきた成果を發表しようという目標から参加している人たちもいる。それが市全体ということになると自主的に行動している人たちが参加しにくくなるのではないかと感じた。文化祭については地域別の形を進めていくほうがいいと思う。

(委員)

安曇野市としての一体感を公民館活動、文化祭等に求めているのかもしれないが、机上ではいくらでも考えられるが、公民館活動で一番大事なことは身近であるということであり、身近な人間関係が豊かになることが第一である。公民館活動や文化祭、運動会等は大きくなればなるほどその活動がパフォーマンス化してしまうため身近にはならない。大きくするというよりも小さくするほうへ進めていくべきだと思う。そういう身近な人間関係を築くことが公民館活動であると思う。

(副会長)

先程の意見も非常に大事であると思うが、社会は変化してきており、社会の仕組みも変わってきている。その変化した社会の仕組みを踏まえながら、公民館の方向性、地域のコミュニティーをどのように作ってあげればいいのかということ、地域づくりと公民館活動は必ずしもイコールではないと思う。そのようなことについて市ではどのように考えているか知りたいところではある。地域の自治体がやるべきことと、公民館がやるべきことは別々に考えなければいけないと思う。現代は、公民館が何をやるべきところなのかわからなくなってきていると思うので委員自身も考えていくべきである。合併したことによって何もかも一緒にする必要はないと思うし、それぞれの地域性も大事にしておくべきである。しかし、市民の皆さんの機運が高まったときには何か計画すればいいと思う。また、中央公民館がきちんと位置づけられた上であるが、分館に関しては5つでは少ないと思う。今のままでは公民館活動は衰退してしまう。近隣を参考に人口比率からの公民館数を算出して委員の皆さんにみてもらうことも必要ではないか。

(委員)

私も意見を書かせていただいたが、委員の中でも違う意見が出ている。市全体で考えてみてオリンピックのような行事もあっていいと思うし、コーラス祭りのようなものは1箇所ですらあったほうがいいと考えている。しかし、それは違うと考えている人もいる。そうするとこの場所で意見を言わなくてはならないと思う。そうでなければ、意見を書いてあとは事務局で考えてもらえばいいということになってしまうのでお互いに意見をいうべきであると思う。

(課長)

皆様から様々な意見をいただいた。今後どうするかということであるが、出されたご意見については十分参考にさせていただき、今後の運営に反映してかなくてはならないと思う。しかし、出された意見をひとつにまとめるということは大変難しいと考える。出された意見以外で足りない部分があれば、今日この場で補足をしていただければと思う。また先程話の出た公民館の姿であるが私の主観として一言述べさせていただきます。公民館については市民が集まる場所であって、また、学習ができる場所、情報交換ができる所であってほしいと思っている。中央公民館が管轄の頂点で分館、地区公民館というピラミッド形で活動ができれば一番であると思う。現在は旧町村でやってきたことをそのまま引き継いで実施しているのが現状である。先程から委員の皆様からも様々な意見があるが、どれがいいのか迷っているのが現実である。私たちも一度検証をしてみなければと考えているが、中央公民館が頂点でなければと思う。これを充実していくには予算編成から考えていかななくてはならないと考える。来年は目標を定めて公民館事業をやっていくということを館長、主事等が仕分けしながらしていかななくてはならないと思う。まだ合併後の市としての公民館の姿が見えていない。的を絞ることも大事であると思うため、その辺をきちんと定めて市民が参加していただけるような公民館の姿を作っていかななくてはならない。生涯学習推進計画もあるがそれだけの成果が出されるような仕組みを考えていかなければならないと考える。

(委員)

安曇野市になって5つの館長を公募したというのは非常に良いことだと思う。自分たちの公民館の現状と問題点(課題)をこの委員会で話してもらい、私達委員がそれに対して意見を述べるという方向に進んでいければと思う。

(委員)

いただいたアンケートを書いていて思ったが、中央公民館でやる仕事と分館でやる仕事を分類しようと原案を書かせているのではないかと。今日の会議は各事業ごと分類をしながらここで時代に合った見直しをするものかと思っていたが違うのか。

(事務局)

今、本当に過渡期になっている。本庁建設に伴って公民館がどのようになっていくか、また職員の人数はどうなるのか今のところ見えていない。安曇野市の公民館としてこれからどういった事業に取り組んでいくのかを明確にするため、組織が変わったときの参考にさせていただくため今回このようなアンケートを取らせていただいた。

(委員)

了解した。もうひとつよろしいか。今後、全体でやったほうがいいものと、そのまま地域に残したほうがいいものを分類していただき、再度原案として見せていただき委員会で議論できたらと思う。

(会長)

せっかくの機会であるため、まだ意見を述べていない委員さんたちについて一言ずついただければと思うが。

(委員)

前回は意見を出させていただいたが、それに対する回答等がなくあやふやになっている部分があり、この委員会は何であるのかと考えさせられることもあった。しかし、地域の知らない世代との交流は大事であると思う。この会自体がどういう方向性になるのか、私自身も勉強不足で申し訳ないが疑問に思っている。

(委員)

公民館の方向性というところで、これからの分館のあり方については非常に重要であると思う。明科は特に公民館建設と支所の建設が先に始まると思うが、私自身地域審議会にも携わっているが、市長からは市の中のモデルにしたいとおっしゃっている。特に職員の人数が少なくなっている中で市民がどう活動していくのかがいいかはっきりさせていってほしい。特にこの5年間のなかで中央公民館のあり方がはっきりしていない。中央公民館として何をやっていくのかははっきりさせていただいて、それから分館をどのようにしていくのか、市民がどうかかわっていくのか等、本庁を建設してからでは遅いので人材育成も含めて考えていってもらえればと思う。

(委員)

芸術文化協会を代表して会議に参加させていただいている。各地区に芸文協があるが一同に発表ができる場があればというような意見が出ているが、時間の問題等を考えれば出る団体等も限られてしまう。充実させるには各地区で行ったほうが良いとの意見が出ている。今現在明科でおこなっている地域間の交流を各地区交代でやっていけばいいと思う。

(委員)

運動会と文化祭についてそれぞれ各地域で多くの市民の人が参加している。これは非常に大きな市民活動であると思う。地域を優先というような言い方は合わないかもしれないが、短歌であったり俳句について今後は機が熟せば市全体でやっていってもいいと思う。

(委員)

公民館活動というのは各地域に分館がそれぞれあって、深い歴史をもっている。何かやることをひとつにする、統合するというのには無理があるような気がする。

(委員)

地域の公民館長をやっているが、現状のままで何ら問題はないと思う。いかに引き継いできた公民館の事業をうまくやっていくかが重要である。今、問題はないと思っているが、課題があるとしたらこの審議会において審議すればいいと考える。よって中央公民館、分館等今やっている事業を粛々と進めていけばいいと思う。また、本庁舎ができれば人員が整理されるとのことであるが、地域で今の形態を継続していってもらえれば、必要な人数は必要である。人員整理があつての話であるならばそれは本末転倒であると思う。

(会長)

一通り意見を聞かせていただいた。今後の参考にさせていただければと思う。

(委員)

最後にお聞きしたいが、激変緩和措置等を行ってきたが、公民館活動の補助金について狙った効果がでているのか、また予算編成においてどういう視点で編成をしていくのかお聞きしたい。

(事務局)

成果であるが、補助金の中に人権学習分として加えさせていただいたことにより、ほぼすべての公民館で人権学習が行われるようになったこと。これは大きな成果であると思う。予算編成については23年度についても22年度同様である。

《 終了 》